



	チェック項目	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	学習と活動する時間や場所を工夫しています。
	2 職員の配置は適切であるか	常に指定基準以上の職員を配置しています。保育士など児童分野での経験と専門性の備えたスタッフを配置しています。
	3 事業所の設備等について、子どもたちへの配慮が適切になされているか	構造化を中心とし見通しを持って安心して過ごせるような空間づくりに努めています。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	利用者が行う新たな取り組みは支援会議で検討・実施しています。
	5 保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の意向を職員間で共有し、業務の改善に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	毎年法人ホームページにて公開しています。
	7 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	常勤の職員は外部研修に参加するように努めています。また非常勤職員に研修内容を情報共有しています。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	子どもや保護者のニーズに加えて、毎日の支援の中での気づきを支援会議で客観的に分析、支援計画を作成しています。
	9 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しています。
	10 活動プログラムの立案をチームで行っているか	職員全員で活動プログラムの原案を作成。職員会議で検討・実施しています。
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	季節に合わせた活動や制作活動を取り入れ、実施しています。
	12 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	一人ひとりの発達に応じ、個別の課題や集団適応及び社会性の課題を支援計画に入れています。
	13 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日、送り時に、支援内容や役割について確認しています。
	14 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	送迎終了後に利用者の様子や支援の振り返りを行っています。また利用者の変化については職員間で共有しています。
	15 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	保護者との連絡帳を活用し、気になった様子を主に記載。社内SNSを利用し利用者の状況など情報共有して振り返りを行っています。
16 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年ごとにモニタリングを実施。保護者の要望も確認しながら、計画の見直しに努めています。	

NO. 2	チェック項目	工夫している点・改善目標など
関係機関や保護者との連携	17 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	外部で開催するときは、児童発達支援管理責任者が情報を収集して参画しています。
	18 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校の下校時間等は配布されたプリントで確認。ケガや、情緒的乱れがあった場合は、その都度学校に電話で確認しています。
	19 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	医療的ケアの受け入れ実績はありませんが、該当児がいる場合は対応手順を文書化し職員間で情報共有していきます。
	20 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	相談事業所を通して、情報の共有をしています。
	21 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	相談事業所を通して、情報の共有をしています。
	22 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	地域で連携が進むよう、交流会等へ積極的に参加しています。
	23 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	利用日の様子については、連絡帳や、送迎時に口頭で伝えていきます。保護者からの相談や要望は連絡帳や送迎時に伺うようにしています。
	24 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニングの保護者向け研修は行っておりませんが、面談や送迎の際、対応などのアドバイスを伝えるように心がけています。
保護者への説明責任	25 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に重要事項説明書を提示し、各項目について説明を行っています。
	26 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	モニタリング時や、送迎時に話をうかがい、相談に応じて、必要な助言を行っています。
	27 父母の会の活動を支援したり、保護者会やNPO総会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者が集まる機会としてNPO総会後に保護者会を行っています。さらなる保護者同士の連携もしていきたいところですが、お仕事の都合や必要ないとの意見などもあり実現に至っておりません。
	28 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	申入れがあった場合、必要に応じて上司の助言を受け、組織として迅速かつ適切に対応しています。
	29 定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、えんでこだよりを発行、保護者へ情報発信しています。
	30 個人情報に十分注意しているか	法人の法令遵守の指針を遵守しています。
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	構造化を中心とした伝え方の工夫（ホワイトボードの利用等）をしています。
非常時等の対応	32 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	必要なマニュアルは策定しています。職員については研修を通して、保護者には重要事項説明書を用いて説明しています。
	33 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	半年に1回、火災や地震を想定した避難訓練を実施しています。
	34 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人研修の研修に参加に加えて、定期的に事業所内で支援の振り返りを行い、未然防止に努めています。
	35 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束事例はありませんが、必要時の手順をマニュアルで定め周知しています。
	36 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	当該利用者の保護者と共有した情報をもとに、アレルギーに対応したおやつや調理実習での食材を提供しています。
	37 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットをもとに、職員間で共有し改善につなげていきます。